

The Historical Association for Environmentally Local Economy (HAELE)

知の継承と飛躍をめざすHAELE-11 セミナー「50年後の豊島を考える」 Geo-Communication Seminar 49 (GCS49)



天正年間古地図（香川県香西町役場『香西史』香川新報社、1930年、所収）

2024/05/05

参加登録は下記にてお願い致します。ZoomのURLをお知らせ致します。

<https://forms.office.com/r/axiXgui926>

14時～17時：Zoom ハイフレックス（香川大学幸町北2号館2F ICEDSルーム（遠隔教育調査研究室））

地球規模の環境変動のもと、瀬戸内海に位置する香川県土庄町・豊島も大きく変化している。本セミナーは、50年という時間スケールを念頭に置きながら、過去・現在・未来の豊島の変化に関する諸研究を交流する。豊島を学問することは、現在の地球とアジアに起こっている変化の本質を理解するうえでの扇の要となりうるのではないだろうか。この観点から、"Altered Earth in Asia"をテーマに2025年11月に開催されるアジア環境史協会(AAEH: Asian Association for Environmental History)の二年に一度の国際大会のメインイベントを豊島において開催する予定である。本セミナーでは、この計画の意義と可能性についても検討を深めたい。

特に今回は、豊島の水環境、豊島の住環境、豊島の植生とその変化、豊島の気候変動予測、そして知の継承と飛躍を課題に社会制度と教育制度の持続性を考える参加者たちが取り組み始めている「豊島学」の成果を持ち寄って交流するとともに、AAEHの国際大会(AAEH2025)の開催のありようについてもこの機会に議論を深める。

第1部：豊島の現在・過去・未来 (14:00-15:00)

石井亨氏（土庄町町議会議員）の講演とディスカッション

第2部：豊島学の展開 (15:00-16:00)

豊島の水環境、豊島の住環境、豊島の植生とその変化、豊島の気候変動予測、環境史の社会・教育制度論などの各テーマでの研究交流をする。

第3部：総合討論「50年後の豊島のために」 (16:00-17:00)

本研究会は、科研B(20H01523)/同(23H01661); JSPS Core-to-Core Program; JSPS/MESS Bilateral Program; 香川大学学長戦略経費「讃岐・瀬戸内発の水・物質循環デザイン研究の国際拠点形成」; 香川大学学長戦略経費「SDGs推進人材育成プロジェクト」の支援を受けています。問い合わせ先：村山聡（香川大学名誉教授 Living Spaces Project, ICEDS, Kagawa University）

Email: [murayama.satosh\[at\]kagawa-u.ac.jp](mailto:murayama.satosh[at]kagawa-u.ac.jp)

URL (HAELE): http://dipweb.ed.kagawa-u.ac.jp/main/?page_id=462